

製品名: Ogg1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86232**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000
分子量	Calculated MW:39 kDa; Observed MW:39 kDa

抗原情報

遺伝子名	Ogg1
別名	HMMH; MUTM; OGH1; HOGG1
遺伝子ID	4968
SwissProt ID	O15527
免疫原	ヒトOgg1の合成ペプチド

背景

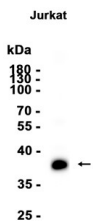
この遺伝子は、活性酸素への曝露によって生じる変異原性塩基副産物である8-オキシグアニンの除去に関与する酵素をコードする。

この酵素の作用には、鎖切断のためのリアーゼ活性が含まれる。この遺伝子の C 末端領域の選択的スプライシングにより、スプライスバリエントは、配列の最終エクソンに応じて、タイプ 1 とタイプ 2 の 2 つの主要なグループに分類される。タイプ 1 の選択的スプライスバリエントはエクソン 7 で、タイプ 2 はエクソン 8 で終わる。すべてのバリエントは、ミトコンドリアへの局在に不可欠なミトコンドリア標的化シグナルを含む N 末端領域を共有している。この遺伝子には多くの選択的スプライスバリエントが報告されているが、全てのバリエントの全長は明らかにされていない。[RefSeq 提供、2008 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



Ogg1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンプロット分析。